

春スマホなど情報端末の

購入の機会を迎えます

2月から5月にかけて、スマホなど情報端末の新規購入、買い替えの機会を迎えます。国は『春のあんしんネット・新学期一斉行動』と称し、販売者、保護者、学校等の関係者が連携・協力し、子供たちが犯罪やトラブルに巻き込まれないように、啓発活動等に取組んでいます。

この時期にお子様やご家庭の利用状況を見直してみましよう。

《主な取組みの重点》

- 積極的なフィルタリングの利用
- ペアレンタルコントロール
- ・保護者によるネット利用管理の推進
- ・利用時間管理、課金制限による適切な運用の促進

○話し合いによる家庭内ルールづくり



スマホ・ゲーム依存

世界保健機構 WHO では疾病として認め、注意を呼び掛けています

●フィルタリング

■『あんしんフィルター』などのサービスがそれに当たり、有害で不適切なサイトにつながらないよう設定されます。現在どんな設定がされているのか一度お店でご確認ください。

○未成年者が使用するスマホを購入する時には、店頭でフィルタリングを設定するよう法律で義務化されています。(平成30年施行)

○お子様にせがまれるままに設定を解除し困ったという話も聞こえます。トラブルや犯罪に巻き込まれた子供たちの8割がフィルタリングを設定していなかったともいわれます。

●ペアレンタルコントロール

■保護者が子供のネット利用環境を制御することを『ペアレンタルコントロール』といいます。フィルタリングはその代表ですが、最近はより細かく接続を制限したり、利用時間を設定したりするツールやアプリが活用されています。

○『デジタル・ウェルビーイング』や『スクリーンタイム』がこれに当たり、子供ばかりでなく、大人も自己管理に利用しています。

○利用履歴をグラフなどに可視化して、今後の使い方や設定を制御することも可能です。

○お子様の利用ステージに合わせて、柔軟に適切に活用していきましょう。

○利用時間の管理、課金制限の設定

長時間利用や深夜利用、高額課金など、健康被害やお金の問題が話題になっていきます。自分で適切にコントロールできるまでは保護者が寄り添う支援をお願いします。



●家庭内ルールづくり

- 親子で話し合い、互いに納得の上でルールをつくる
 - ・利用時間
 - ・何時まで
 - ・休日は
 - ・課金上限
- ・利用場所(居間) トイレや自室に持ち込まない
- オンラインゲームを認めるなら、最初に約束
 - ・どんなゲームを誰とやるのか
 - ・利用料の上限
- SNSを使うときも、互いにルールを決めて
 - ・ネット上で知り合った人と、絶対に直接会わない
- 守れなかったときのことを決めておく
 - ・相談の機会を持つ
 - ・一時停止とする
 - など

●困ったら、相談窓口にご相談を

近くに相談できる人がいないとき、困る前にも、ご利用ください。

〈少年育成センター電話相談〉

平日 8時30分～17時15分

電話 228-8588



※匿名で結構です。秘密は守られます。来所相談にも応じています。

< ゲームで遊ぶなら 気をつけたいこと >

(総務省インターネットトラブル事例集 2021年版 参照)



Q スマホゲームは、これまでのゲームとどこが違うのですか？

A オンラインを利用したゲームは、いつでも、どこでも、気軽に楽しむことができるのが大きな特徴です。年齢を問わず古今東西、多くの老若男女がゲームを楽しむ時代になりました。会ったことのない人がグループをつくりゲームをするということも可能です。それだけに、様々な事件が起きています。ゲームがきっかけで起きたトラブル、犯罪は、**高額課金**や**ゲーム依存**以外にも、**ID乗っ取り**や**誘い出し**、**詐欺**など様々です。ゲームをコミュニケーションの場と考えるなら、安全に遊ぶための工夫や危機管理を怠ってはいけません。トラブルや犯罪に巻き込まれないように、しっかりとした対策をとって安全にゲームをしたいものです。

<注意をし、対策をしましょう>

- **高額課金**は、ゲーム会社の定めた年齢層に応じた上限設定（例えば中学生以下は5千円、高校生は1万円）や、コンビニで買えるプリペイドカード（一月の限度額までにする）などを上手に使いましょう。
- **ID/パスワード**は、親しい人でも教えない。誕生日、番地などすぐわかる数字や名前は使用しない。
- **ゲームで知り合った人**には直接会わない。新しい機能などから個人情報が漏れないよう注意しましょう。
- **対象年齢**は明記されている。購入・導入時に必ず確認し、対象年齢まではガマンさせることも大事。

あらためて フィルタリングについて(販売店で相談)

フィルタリングは、有害な情報・サイト、うっかりアクセスによるトラブルから、子どもを守る機能です。

1 販売店で設定ができます。「子どもが使用する場合がありますので、フィルタリングを使えるようにしたい」と伝えてください。



2 大人が利用するスマホなどの端末は、一般的にフィルタリングの設定がされていません。保護者の機器を子どもに貸す場合や契約の切れた端末を子どもが使用する場合は、新たにフィルタリングを設定しなければなりません。販売店で相談ください。

ペアレンタルコントロールのツールやアプリを使うと、スマホ・タブレットやゲーム機のプレイ時間の制限・調整、課金の管理、ネット利用の制限、対象年齢区分(レーティング)など、子供の利用状況をコントロールできます。保護者にとっては子供の利用状況をつかむことができる大変便利な味方です。何のためにするのかよく説明し、お子様も納得の上で利用していきましょう。

1 OS事業者 (Apple・Google 等) が提供しています。ペアレンタルコントロールのサービスを活用しましょう。

2 各ゲーム機にもペアレンタルコントロールのサービスがあります。各説明書やホームページなどで確認し、最初に設定しましょう。



情報端末の適切な利用は子供の話しばかりではありません。最近では、これらペア・コンの機能を用い、自分のスマホやゲームの使い方を見直している大人も増えています。親子で使い方を見返し、家族全員で『セルフコントロール』の力を身に着けていけるといいですね。